

平成29年度地域交流による高等学校活性化事業に係る
第1回公開授業研究会 協議会報告書

石川県立内灘高等学校

＜協議会全体記録＞

参観者 付箋を色分けした理由、意図は？

司会 思考ツールを活用し、意見がまとまりやすいようにするため。
生徒や先生が授業を振り返るため。

(授業者の感想)

授業者 今回の授業は32Hの国語表現をしました。ICT機器を多く活用するよう
にしている。スクリーンを二つ使うのは二回目であった。アップルTVの使
い方等工夫した。

ICT機器の活用を深い学びにつなげていきたい。興味関心を持たせること
はできるので、それがメモを取らずに集中して話を聞くことに繋がっている。
また、そのことで授業規律に繋がっていくことができるのではないかと。

授業者 今回の授業は13Hの家庭基礎をしました。本時のねらいについて、映像資
料と「愛着」という言葉をキーワードに行った。付箋を使用したKJ法を初
めて使用した。

今回は付箋を使用して終わってしまった。アドバイスいただきたいことは、
時間配分と映像資料を見た後の発問と、グループ活動における発問の仕方を
教えていただければと思います。

(質疑応答)

参観者 見どころシートの活用によりねらいを明確にしていた。家庭科の授業におい
ては何のための映像資料なのかを明確にすることで、そのあとの発問にも活
かせるのではないかと思いました。国語科の授業においてはやる気スイッチ
を入れることに工夫をしていた。また、授業の論点をズラさないようにする
工夫も見られた。

参観者 デジタル機器を授業に導入するうえで先生方と生徒側での課題は？

授業者 課題はWi-Fi環境が非常にネックである。月末であるとほとんどの生徒
は通信制限がかかってしまい通信がスムーズにいかないことが多くなると考
えられる。また、調べる際に授業と関係ないことを調べないようにするなど
ルールの徹底も必要である。

参観者 紙ベースでできることと紙ベースでできないことの区別が必要である。ICT
機器の活用により全員でひとつのノートなどを共有できることは良い。出
典を明記させることへの課題であると思います。

参観者 家庭の授業において、なかなかでない意見に対して、なぜ？どうして？と質問し深く問うようにすることで、全員が質問について考えることができると思う。また、一つの質問に対して全員書き込んだりすることにより全員で考えられるのかなと思います。

参観者 自分の意見を持ち、相手を論破しようとすることで意欲がすごく上がっていた。また、ICT活用の是非についてはどの学校でもある課題であると思うが、ロイロノートを活用することは良いと思った。しかし、自分が大事だと思うところにマーカーを引くことで見づらくなっていた。また、中間評価と最終評価の仕方に工夫が見られるとよい。

参観者 情報リテラシーについて、一つの情報だけに偏るのではなく、さまざまな情報を得るとよいと思う。また、映像の活用としてどのページを残すのかなどの工夫が必要であると思う。Wi-Fi環境の整備状況によって生徒へ送るなどするとよいと思う。

ロイロノートを活用する理由を教えてください。

授業者 ロイロノートを使用することでポートフォリオ代わりに出来る。小論文などをデータとして残すことで、生徒自身が自分の成長を目に見える形で残すことができる。

参観者 家庭科の授業について。時間配分の部分は、映像を見せる時間を工夫することで生徒が思考する時間を長くすることができると思います。

発問については、抽象的な質問が多く感じられた。具体的に発問することで生徒も考えやすくなると思います。

また、発問や聞く生徒の態度についてももう少し指導が必要であると感じました。

<国語科公開授業>

■よかった点

- ・途中評価でA東京と出た時、B側がすぐ「論破できるから」と発言したこと。全てのチームが、他チームやそれぞれの文章について検討しようとする姿勢をしっかりと持っている。
- ・デジタル文書も手書き文書も提示していること。技術的に可能でも、授業する先生にその意思がなければできない。先生のその工夫があつてのことだと思いました。
- ・発表者の強調したい所を発表と同時にマーカーで画面に表示できる工夫。
- ・生徒同士の口頭での議論。
- ・先生の机間指導でのやりとりなど、活発であった。

・機材を使うので、「いっぱいいっぱい」の授業ではなく、非常に良いバランスが保たれていたと思います。

- ・譲歩構文を生徒がかなり使いこなしている所。
- ・「住居ランキング」でのやり取り。ここでは具体的根拠（説得力）を求める方向に生徒が向いている。
- ・発言での論破になりかけた時に注意されていたのはよかった。
- ・授業後にあいさつがしっかりできている所が素晴らしい！
- ・活発な発言がされている。
- ・下を向いている生徒がいなかったのが良い。
- ・インターネット情報に信憑性があるかどうか確認されていたのは良かった。
- ・生徒の発言の声が大きくて良い。立って発表しているのがもっと良い。
- ・最新の情報をネット等でその場で閲覧できる。視覚的な情報を即共有できる。
- ・学習形態が一斉指導型でなく、グループごとの机配置だったので話がしやすい。
- ・その場で話す形式が良い。ワークシートもメモに留める程度のものにする。
- ・ケータイを使用しながら、他のことに使用していない所が素晴らしい。
- ・発表のみで、授業展開になりがちだが、授業者がしっかりと書くことで…>と学習課題に戻している。授業軸がぶれなかった。
- ・東京と金沢、どちらに住むのが良いかというテーマ設定が良い。生徒達の学習意欲になった授業だった。
- ・使用資料が事前にあるので、先生と生徒のコミュニケーションが多いと感じた。
- ・タブレットと前方スクリーンが連動している事でタイムリーに動きを確認して共有できる事。
- ・少人数によるグループ分けされた授業なので、全員主体的に考えているように感じた。

■改善した方が良い点

- ・「全日住居ランキング」何がランキングなのか。ネットですぐに資料検索して、根拠データとして提示しても良いのではないだろうか。
- ・説得する事＝確かなデータ展示では？（具体的な事）
- ・評価の前に、各自の口頭による論によって評価内容が変わる心配がある。
- ・生徒のスマホを使用する事でのトラブルがやはり心配。
- ・論破するとき写すのは相手の文章が良いのでは？この部分がおかしいという風に言った方がわかりやすい。
- ・情報の信頼性。出典をこだわる。
- ・発表者が見どころ、工夫点をマークしていても見にくいので、手元にあるプリント

に線を引かせると残って良いのではないか。

- ・せっかくタブレットを使用しているのに、文字もタブレットから入力したデジタルデータで送った方が良い。
- ・前方スクリーンとタブレットが連動していることはとても良いが、前方スクリーンが少し見づらいつ感じました。
- ・中間評価を最終評価時に見られるようにした方が考えやすい。
- ・発表時→当初評価、再構築→中間評価、2つ合わせて最終評価にすると評価しやすいように思います。

■おもしろい点等

- ・説得力のある文章となっているが、文章というよりディベート力になっている感じもありますか…？
- ICTを活用することで「書くこと」が見えにくい授業になってしまいました。次時で本時を元にした文章を書きました。
- ・このように生徒がスマートフォンやタブレットでの授業に慣れるのに今までどのくらいかかっていますか？また導入段階での注意事項は？
- 2時間ほどでした。ゲーム、LINE等をしない、情報モラルを守った上での使用を促しました。
- ・提出用にソフトを使用しているようですが、それが必要な理由が知りたい。
- 生徒の興味・関心、学習意欲の向上につなげる目的です。
- ・黒板上に文章を写しているのに、なぜ紙媒体が必要なのか？写っているにも拘らず？
- スクリーンの文字が見えにくいという生徒への対応のためです。
- ・タブレットを使っているのになぜケータイが必要なのか？
- タブレット端末はWi-Fiにつながっておらず、仕方なくスマートフォンを使用した。
- ・DVDとパワーポイントを併用する場合、できればプロジェクターを2台準備した方がよかった気がしました。スクリーンが2つあるのもったいないと思いました。
- ・生徒の意見を付箋に書いたものを、全員で共有する場面を作るのが難しい。
- ・ロイロノートを使ってみたいと思いました。
- ・途中で気になったことがあれば、スマホで調べている生徒もいた。
- ・Aチーム、Bチーム共に、非常におもしろいポイントで述べていたので、続きが気になりました。
- ・タブレットを活用し、瞬時に評価を共有できる。意欲付けになっている。

<家庭科公開授業>

■よかった点

- ・インパクトのある映像。(生まれて間もない赤ちゃんや野口幸美ちゃん)
- ・DVDを見せっぱなしにしないで、ポイントごとに停止させてまとめていく所。
- ・動画を用いて生徒の興味を引いたり、考えを引き出したりする工夫をしている。
- ・何を映像から読みとらなければならないのかが、掲示物で明瞭になっている。班割りもわかりやすい。
- ・生徒の発言に対して、「なぜ?」「どうしてそう思う?」などの問い返しが多かった。
- ・先生の笑顔が多くてあたたかい感じがした。

■改善した方がよい点

- ・チームリーダー風の生徒以外の生徒の発言が少ない。
- ・発表するときにはしっかり立たせると良いです。
- ・男女比によって、グループ内で唯一の男子又は女子の発言が少なくなる。
- ・タブレットを開いていない、文字を写していない班がある。タブレットを必要としない授業になっている?
- ・プロジェクターの輝度をもっと高くしていただきたいものですね。教室も明るく、プロジェクターも見せやすいという環境が今後ぜひとも必要ですね。
- ・一人の生徒の発言が多かったので、他の生徒にも聞く。
- ・発言の途中で私語をしている生徒がいたが、注意をしなかった。姿勢の悪い生徒もいた。
- ・考えを書いたり、発表し合ったりする時間が短く、思考が深まったか疑問が残る。

<その他>

■よかった点

- ・廊下で会った生徒が、大きな声であいさつしてくれた点。
- ・「ふらっと参観」の企画がいい。気軽に参観できて良い。
- ・「ふらっと参観」にモップを持って回ること。グッドアイデアですね。

■おもしろい点等

- ・BYODのルールは守られていますか?本校で取り入れるにはリスクが大きいと感じました。
- 現状ではトラブル等は聞いておりません。一斉授業が成立していることと、生徒との信頼関係があれば問題はないと感じます。

<全体アンケート>

- ・教科別に分かれて、意見交換の時間もあれば、授業者の先生の参考になる意見もたくさん出たのではないかと思います。
- ・ICTを使って効果的な授業を行うというのは、我々が常に考えておくべき事ですが、国語という教科はそれが使いにくい教科のように思っています。文章が多いだけでも、それを表示させるのに苦労しますので。そんな中、一つの使い方を示していただき、ありがとうございました。参考にさせていただきます。
- ・丁寧な運営が良かった。Classiを実際に使っているところを見たかった。
- ・生徒たちが活発に授業に参加している様子から、先生方のご指導がしっかり行われているところが伝わりました。私たちの学校にもたくさん課題がありますが、また前向きに取り組んでいきたいと思えます。授業も大変参考になりました。又勉強して取り組んでいきます。ありがとうございました。

<フォトギャラリー>



■当日完成したPMIによる模造紙の電子データを、本校ホームページに掲載します（11月20日以降）。ぜひご覧ください。

内灘高校HP

